

## 平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	研究ゼミナールA(Seminar of Study A)	授業コード	C172421
担当教員名	大江 克利、郡 弘文	科目ナンバリングコード	
配当学年	3	開講期	前期
必修・選択区分	選択	単位数	2
履修上の注意または履修条件	就職に関連する内容ですので、3年生は全員履修するようにして下さい。外部講師による特別講演の都合により、内容が変更される可能性がありますので、掲示等の連絡に注意すること。		
受講心得	進路、人間力、卒業研究内容等を念頭に置き受講することが望まれます。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	各教職員からの指定図書等		
関連科目	研究ゼミナールB、航空工学演習3、卒業研究、就職活動実践講座		

授業の目的	本科目は就職に関連する一般的な知識や教養について学習し、同時に基礎学力向上を目指します。
授業の概要	研究ゼミナールAでは、社会人として一步を踏み出す上で必要な一般的な知識や教養レベルを上げるために、講義毎に一コマの場面を例にとってその中から必要な社会的常識を習得します。また、実際に就職試験で必要とする一般教養、国語、英語等の基礎学力の向上を得るために、課題の訓練を行います。また、現在企業で活躍する方から直接その企業環境や企業の考え方等について講演をお願いする予定です。 なお研究ゼミナールBでは卒業研究に向けた準備を行います。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：全体スケジュール説明(本講義の進め方等について)	教養科目の演習問題(1)
第2週：4年生就活レポート紹介(試験内容、面接内容、等)	専門科目の演習問題(1)
第3週：就職活動について	教養科目の演習問題(2)
第4週：航空業界について特別講演(予定)	特別講演(1)のレポート
第5週：アウトソーシングについて	専門科目の演習問題(2)
第6週：アウトソーシングについて特別講演(予定)	特別講演(2)のレポート
第7週：宇宙関係企業について	教養科目の演習問題(3)
第8週：航空宇宙設計業界について特別講演(予定)	特別講演(3)のレポート
第9週：内定取得した先輩の話(1)	先輩講演(1)のレポート
第10週：内定取得した先輩の話(2)	先輩講演(2)のレポート

第11週：学科就職先企業紹介	専門科目の演習問題(3)	
第12週：航空物流業界について特別講演(予定)	教養科目の演習問題(4)	
第13週：履歴書指導	専門科目の演習問題(4)	
第14週：志望企業調査	専門科目の演習問題(5)	
第15週：航空機製造、修理業界について特別講演(予定)	特別講演(4)のレポート	
第16週：期末試験		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	
地域志向科目	該当しない	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標

【関心・意欲・態度】	航空宇宙関係の様々な業界について、特別講演を聴講したり、自分で調査することによって、希望する業界についてよく理解すること。
【知識・理解】	就職試験で問われる専門の基礎知識を理解し、基本的な問題が解けるようになること。
【技能・表現・コミュニケーション】	特別講演のレポート作成、教養、専門問題の解答作成等から自分のレベルについて、客観的に表現することができること。
【思考・判断・創造】	特別講演、教養、専門基礎学力試験を通して、自分の進むべき方向付けができること。

○成績評価基準(合計100点)

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		15点	5点	
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	20点	15点	5点	
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		15点	5点	
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。		15点	5点	

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	特別講演のレポート期限内作成、教養、専門問題の解答、正答率等を成績に反映します。
発表・その他 (無形成果)	教養、専門試験に関する質問等を行い、その回答内容等で、理解度を判断します。